



社会福祉法人 ほっとスマイル

ぽぽデイ名塩駅前 669-1134 西宮市名塩新町 5021-11 TEL 0797-62-0705

ぽぽデイ東山台 669-1133 西宮市東山台 1-1 TEL 0797-62-1165 (1F)

TEL 0797-26-7705 (2F)



ぽぽデイ東山台の隣に小さな保育園ができて一ヶ月。デイに通ってくるお友だちは最初「何ができたんだろう？」と気になっている様子。ふり向きながらも、いつものお部屋に入ります。事務所の戸を開けていると保育園の部屋をじっと見ている。「遊びにおいで！」と言われると、嬉しそうに「ハイ」と返事をしています。

ある日、玄関でうちぐみの女の子が泣いていました。長い間大きな声で泣いているので気になったのか男の子がドアのガラス越しで心配そうに見ていました。時々笑ったり変顔をしていたら、女の子は泣き止み、その男の子のところまで行き、見つめあっていました。子ども同士何か通じたのでしょうか。別の日、保育園のお部屋に遊びに行った小学生の男の子、そこで会った一歳の男の子に興味津々。顔をさわったり、手をつないだりしている間に抱っこをしました。一歳の男の子はびっくりしていやがり、泣きそうになりましたが、それでもずっと抱っこされていました。

このような経験を繰り返していく間に小さなお友だちとの関り方を知り、一緒に遊べるようになってお互いに成長できるのだと思っています。(K・H 記)

ぽぽデイ東山台の隣の保育園は「うちぐみ」という名前です。



5月の児童発達支援

5月より名塩駅前と東山台と一緒に朝の時間を過ごしています。私たち職員は「初めてののお友だちと遊べるかな。名塩駅前のお子さんは場所も変わるけど大丈夫かしら・・・。」とあれこれ心配し、4月のうちから少しずつ一緒に過ごす時間を作っていました。今も少し緊張しているものの、新しいお友だちや大人とも遊べる場面が増えています。朝の会やサーキット遊びなどにちょうどいい人数のグループで、集団遊びの経験を重ねることができそうです。

5月の放課後等デイサービス

東山台では夕方5時から卓球が始まり、名塩駅前のお子さんも一緒になって楽しんでいます。みんな上達してきて、対戦する大人も汗だくです。低学年のお子さんたちは外で鬼ごっこやキャッチボールをするのが大好きで、毎日ナシオン広場に出かけています。新しい生活も一カ月がたち、心身ともに疲れが出始めるときなので、ゆっくり過ごせる環境を提供していきたいと思います。

5月の児童発達支援 東山台 さくら

幼稚園の生活にも慣れてきて、お昼からもゲームや運動遊びに元気よく取り組んでいます。今月は駐車場のプランターにきゅうりとトマトの苗を植える予定です。去年、みんなできゅうりがりがりかじったこととお話ししてくれるお子さんもいて、私たちも楽しみにしています。

第9回 保護者交流会のご案内

この時期ならではの悩みや先輩ママさんに聞きたいことなどを気軽に話しあいましょう

日時：5月24日（木）9:30～12:00

場所：ぼぼデイ東山台2F

参加費：無料（飲み物をご持参ください）



「NHK歳末たすけあい募金」の助成を受けてぼぼデイの車を購入しました

給食を運んだり、担当者会議等に出かけるときに使用します。8番の駐車スペースに止めており、ご迷惑をおかけしています。名塩駅前も東山台も公道に出る際にはどうか十分に注意していただきますようお願い申し上げます。



私たちは、「この子は集団参加が難しい」だとか「この子は場面の切り替えが苦手」だとか、あるいは「指示が聞けないので視覚的な援助が必要」ということをしばしば聞いたり、自分でも口にします。でも、そのような「行動の特徴」と言われるものが、そのお子さんの固有のものなのか、その状態像がずっと変化することは無いものなのか、そう言い切れるのかな？と思うことがあります。もしそれが「障害」によるものであれば、その状態は大きく変化することはないのでしょうか。でも、こんなことがありました。あるお子さんは自分の気持の表現が不得意で、気に入らないことがあるとお友だちを押ししたりということがあったので、小学校入学後の集団生活が心配されたのですが、比較的短時間ですんなりと学校生活に溶け込むことができ、驚くほどでした。またあるお子さんはどうしても学校の門に入れなかったのが、年度が変わると自力で通学できるようになったということもありました。「障害の社会性」ということが言われます。障害は「その人のもの」という側面もあるでしょうが、同時に、障害は「社会のもの」という側面もあり、社会が変われば（受け入れの仕方や受け止めの仕方が変われば）その「障害像」（「気に入らないことがあるとお友だちを押し」や「（集団参加が苦手）学校に行けない」）も変わってくるものようです。4月から新しい「生活の場」に通い始めたお子さんたち、1ヶ月が過ぎました。どうぞ新しい出会いを通じて、私たちの固定的な見方を覆すような、新しい自分、今までとはちょっと違う自分に出会われますように、祈ります。（M記）

スタッフの一言

4月からお仕事させていただき、1週間たったころ、中学生から「慣れましたか？」と聞かれたときは嬉しく、心が暖まりました。このような優しい子がぼぼデイを利用することで、楽しみながら好きなことを伸ばして成長できるよう、お手伝いしたいと考えています。お子さまのこと等、色々教えていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

名塩駅前 中野 幸

この4月から働かせてもらっています。お子さんたちも少しずつ名前を覚えてくれて「おおやまさん」「おおもりさん」ちょっとおいしい（笑）遊びに誘ってもらえてとても嬉しいです！楽しい時間を過ごしながら一緒に成長していきたいです！

東山台 大山 佳菜

☆ ぼぼデイ開設当初から私たちと一緒に療育に取り組んでこられた奥枝知子さんが、親御さんの介護とご自身の体調不良もあり、3月に退職されました。皆さんにお別れをする機会がありませんでしたので、心残りだったのではと思いますが、しばらくゆっくり身体を休められて、また元気なお姿を見せてくださる時を待ちたいと思います。6年間本当にありがとうございました。